

ずいそう

## 山城めぐり

福田 泰宏



今年4月より顧問となり営業サービスの前線から退き、また東京赴任を終え久しぶりに関西に戻り新たな生活を始めました。そこで自由な時間も増えてくるので、ここ15年間の趣味である山城めぐりを続けていこうと思っています。

きっかけは15年前、兵庫県にある「天空の城」とも言われる竹田城に上ったこと。山頂部に築かれた総石垣の壮大さと、山頂からの展望のすばらしさに感動し、他の山城も訪ねるようになりました。最初の5年は住んでいた兵庫を中心に西日本の城を、東京赴任後は東日本の城を、主に電車バスと徒歩で訪ねてきました。

今日までで登城した数は109カ所。月一回程度で丘城も含めてですが、徒歩で登ったとしてはそれなりの数になったかなと振り返っています。数多く訪ねたエリアは、戦国時代の国名でいうと、播磨14カ所、備前6カ所、近江7カ所、遠江・駿河6カ所、武蔵18カ所、上野9カ所、信濃15カ所。家から近い兵庫県と東京近辺が多いものの、結構、遠出もしてきました。

どれも印象に残っていますが、一部をご紹介します。行かれた方もおられると思います。

## ○白旗城（兵庫）、三石城、天神山城（岡山）：

播磨国守護 赤松氏とその地位を奪った浦上氏の本城。その浦上氏も宇喜多氏にとって替わられます。どの城も登山口から本丸まで、岩場と急峻な登りが30分以上続き、下剋上時代の攻防の厳しさを感じました。

## ○芥川山城、飯盛山城（大阪）：

信長に先んずる天下人とも言われる三好長慶の居城。畿内大阪平野を見下ろすことができ、一時期だったとはいえ三好氏の権勢が偲ばれます。大河ドラマ誘致の看板がありましたが、実現したら三好氏のことをもっと知られることになるでしょう。

## ○小谷城、観音寺城、安土城（滋賀）：

小谷城は山頂495mの尾根に築かれた浅井氏の本拠。長政はお市の方を娶るが信長に反旗をかかげ敗れて自刃、物悲しく感じる城跡でした。観音寺城は南近

江を制した六角氏の本拠。信長に侵攻され甲賀に逃れた。432m山頂部に石垣で囲われた本丸と家臣邸があった広大な城で、高さ10mの大石垣に六角氏の往時の力強さが残っていました。そして安土城、訪れる人も多く、石垣の巨大な石などに、信長の気宇壮大さや圧倒的な権力が溢れていますが、わずか3年で焼け落ちる運命とは戦国の世のむなしさが伝わってきます。

## ○八王子城（東京）：

小田原城を本拠とする北条氏最大の支城。1590年秀吉方の攻撃で落城、城主の氏照は切腹した。武蔵エリアは河や沼を利用した丘城が多いのですが、ここは445mの山上にあり結構きつい登り。都内から1時間強なので、週末の運動不足解消として何回か訪れました。

## ○金山城（群馬）：

上州エリアは戦国時代、関東管領上杉氏、武田氏、北条氏の戦いの前線となった地域。そんな中で国人横瀬氏が上杉、武田の攻めに耐えた堅牢な山城。その後北条に降伏、最後は秀吉により廃城となった。石敷の通路や石垣が印象的です（写真—1）。利根川、渡良瀬川の流域を望めます。

## ○岩殿山城（山梨）：

下から見上げると絶壁の岩の上に築かれており、頂上からの富士山を望む雄大な景観が素晴らしいです（図—1）。武田武将 小山田信茂の居城。織田方に敗れた武田勝頼がここを目指したが、たどり着けず天目山で自刃、武田氏が滅亡した。



写真—1 石造りの金山城跡



図—1 岩殿山城跡からの景色

### ○上原城，林城，蔓尾城（長野）：

それぞれ名門，諏訪氏，小笠原氏，村上氏の居城。武田信玄の信濃侵攻に抵抗したが，いずれも落城した。かつての名門の没落と信玄の侵攻の苛烈さを物語っていました。

### ○二俣城，高天神城，諏訪原城（静岡）：

放映中のNHK大河ドラマ「どうする家康」で家康と武田の攻防の舞台。さっそく巡ってきました。二俣城は天竜川，諏訪原城は大井川に沿った要害の地。高天神城は複雑・急峻な谷崖と築かれた堀などから攻防の激しさが伝わります。三河の山城も訪ねたいと計画中。

私にとっての山城の魅力は，第一に，登り切ったときの爽快感です。これは平城にはない魅力。山城は急

峻な山河の地形に守られた要害の地にあることが多く，また敵の来襲に備え遠くまで眺望がきくところに築かれています。登りは疲れますが，登り切ったあとの眺望は格別，心地よい疲れです。たまに木が茂り眺望がないこともあります，それはそれで運動後のストレス発散は変わりません。第二に，山城のもつ歴史と知らない土地に詳しくなれるのも魅力です。訪ねることでその土地の特色，歴史を知れ興味が湧いてきて，また次行こうとなってきます。

最近，以前と比べて変化を感じることもあります。整備される場所がある一方，やぶ化しているところも。高齢化が進む地域では人が行かなくなっていることも要因なのでしょうか。また場所によっては熊出没注意の看板を見かけることが増えた気がします。温暖化や人口減少で人と獣の活動エリアが近づいているところが増えていると聞くこともあり，より注意が必要になってきています。

全国に城は3万あるそうです。山城も大変な数でしょうし，まだ十分調査されていないものもあると聞きます。109カ所はほんの一部，行ったことのない地域も多く，これから訪ねていくのが楽しみです。最近，山城の本も多く出版されておりTV放映やネットでの情報も充実してきており，周りにも同じ趣味の方が増えていてうれしく思っています。

—ふくだ やすひろ コベルコ建機(株) 顧問—